

参加報告書

行事名	日本ジオパーク全国大会 十勝岳大会
場所	美瑛町・上富良野町
日程	プレツアーナー:2025年9月24~25日 大会:9月27~28日
報告者	佐々木 美穂子
目的	全国のジオパークの活動をされている方々との交流・活動の学び
役割	・分科会「ジオパーク×アドベンチャートラベル」 プレジオツアーガイド内容紹介 ・ポスター発表 「ここでしか出会えない景色と物語～火山・歴史・秘境をめぐるガイドコース」

●分科会 主催:洞爺湖有珠山ジオパーク

「ジオパーク×アドベンチャートラベル～大地の魅力を生かして“心に刻まれる旅”を提供するために」

約120名程が参加した大会最大人数の分科会でした。

アドベンチャートラベルについて加賀谷にれさんから説明があり、全国大会のプレツアーナーとして洞爺湖有珠山ジオパークで行った1泊2日のツアーを加賀谷にれさんの進行により紹介されました。

ツアー1日目は伊達紋別駅出発～館山の丘(加賀谷にれさん)～浜田果樹園(中岡紗恵子さん)～昭和新山山麓・三松正夫記念館(佐々木美穂子と三松靖志さん)～77遺構から温泉街へサイクリング(福澤直子さん)～夜の交流会、2日目は雨のため早朝街歩きは中止(荒町美紀さん)、ビジャー・金比羅火口(江川理恵さん)と各ポイントにスポットガイドが置かれ、その間をスポットガイドの加賀谷さんが物語を繋ぐ…というツアーでした。

分科会ではスポットガイドが担当のツアーについて概略を話し、参加者に感想を発表していただきました。

私が担当した昭和新山・三松正夫記念館でのテーマは「火山に魅せられた人々」。三松正夫さんから三朗さん、靖志さん、火山マイスターや訪れた人々・こども達に語り継がれる「火山と共に生きる」「伝えていく」という私達の地域の文化に触れていただきながら、昭和新山生成80周年の年と月もあるのと、直近で三朗さん追悼登山も行い、参加者の中には三朗さんと親交があった方々もいらっしゃっていただいたので、昭和新山を見ながら正夫さん、三朗さんを偲ぶ時間をとの想いがありました。昭和新山を見ながらの火山実験と事前アンケートから昭和新山の石をご覧いただき、最後にはサプライズで靖志にも登場していただきました(正夫さんの顔真似付き)。

私の担当の感想は火山女子で有名な島原半島の「くらりん」さんが発表してくださいました。ツアーの中ではあくまでも「人」のストーリーを意識しましたが、その裏側に込めた「減災文化」について感じていただいたようで、嬉しく思いました。

後半は通訳案内士などをされている馬上千恵さんによる最近のアドベンチャーツアーフィールドやスルーガイドとスポットガイドの役割についてなどのお話をや参加者同士で伝えたいことを短い文章で伝えるワークなどを行いました。洞爺湖有珠山ジオパーク内ではアドベンチャートラベルについてお話を聞く機会が多いですが、他地域の方にはあまりなじみがないようで、皆さんが楽しみながら学ばれていた印象的でした。



●ポスター発表

「ここでしか出会えない景色と物語～火山・歴史・秘境をめぐるガイドコース」

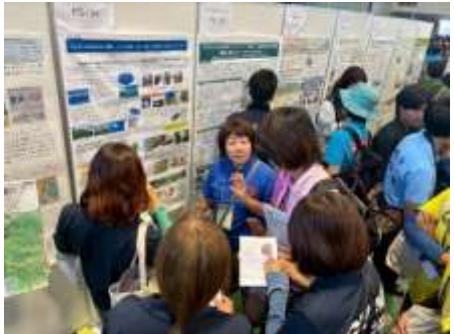
荒町さんと共に、有珠山のメインコース以外のみどころも全国の方に知っていただきたく、それぞれのお薦めのコースについて発表しました。

私は小幌を巡る「Koboro Mysterious Tour」と「タイムスリップしてきた縄文ツアーア」を紹介しました。

日本一の秘境駅となる小幌をTVで見てご存知の方もいらっしゃいましたが、多くの方が豊浦町自体、どこにあるかわからない、そんなところになぜ駅が？という反応で、列車で行ける、秘境到達証明書などに興味を持たれたようでした。

世界遺産となった縄文遺跡に関心がある方も、普通の観光なら縄文遺跡を選ばないな～という方もいらっしゃいましたが、最近、私が行っている「縄文人が案内する」という点やJINRIKIを使って車椅子の方のサポートを行っている点に興味を持っていただけたよう

です。
「知る人ぞ知るスポット」を訪れたいという方も多いので、ジオパークのメインなコースを体験済みな方などに「通なコース」としてニーズがあると感じました。



「三松三朗さんを偲ぶコーナー」

三松三朗さんの等身大パネルが置かれ、三朗さん語録や活動の展示に三松靖志さんが三朗さんの顔真似でお出迎えしていました。ポスター会場入ってすぐの場所で三朗さんパネルのお出迎えで、多くの皆さんが訪れ、三朗さん、靖志さんと撮影をされていました。



●口頭発表

・「小中学校の教科書におけるジオパーク情報の掲載率について」

発表：金田皓樹さん

時折、火山マイスターの活動などが教科書や資料集などに載っていると聞くが、「少ないんだろうな」という印象を持っていましたが、金田さんの発表により、多くの教科書に掲載されているとのことで、ほとんどの子ども達が、何らかの授業で、ジオパークについて触れていることを知りました。



・「有珠山における噴火後の動物相の遷移 経過年数及び森林施業形態別での比較と分析」

発表：伊達開来高校

今年、ジオカフェで発表してくださった西山山麓・四十三山での植生と動物相の比較に加え、苔類についての調査もあり、森の樹種の多様性と生き物の多様性の相関についての発表でした。四十三山での天然林・人工林の比較も面白かったです。



・「黒曜石と先人、そして私達へ 白滝の魅力発信」
・「黒曜石の原点、白滝～国宝の魅力を支える素材の正体と石器文化」
発表：遠軽中学校

今年の夏に白滝のジオツアーパークに参加したことでの興味を持っていて、白滝ジオパークの専門員・ガイドの方々との交流時に地域の生徒の発表があるとお聴きしたの参加。会場からの「さまざまある色があるのになぜ黒曜石というのか」や「黒曜石にどれくらいの価値があるのか、和田峠とどちらが価値があるのか」の質問と回答も面白かったです。生徒さん達が着ていた黒曜石Tシャツや国宝黒曜石のはっぴも良かったです。



・「今こそ地域を越えてガイドがスキルアップ！～TORE理論を用いたガイド勉強会の有効性」

発表：桜島ジオサルク

ジオ友研修旅行や私達のツアーにも参加してくださったりと、親交がある桜島の名物ガイドさん達が発表者であることと、私も以前、オンラインでこの勉強会に参加したことがあります。なかなか参加するためのハードルが高く感じていますが、興味があるので参加しました。発表の内容はテーマ、もちろん参考になりましたが、特に参考になったのは、発表する時の雰囲気作りや、聞きやすさなど、内容以外に学びが多くありました。名物ガイドさん達の発表とあって、会場はぎゅうぎゅうの大賑わい、発表が終わると人が極端に減るほどでした。場を和ませて、温かい気持ちにさせてください、私もこんなガイドになれたらいなと思いました。



●基調講演「宇宙創成から未来へ～これからの地球と私たち～

講演者：佐治晴夫理学博士

お話を聞くまで、美瑛町に天文台があることを知りませんでした。宇宙の始まりからの難しそうなお話かと思いきや、美しい星空の景色とわかりやすいお話で、「星も人間も同じ元素でできている」「星はすべての人の上に分け隔てなく姿を見てくれる」「みんなで星空を見上げる⇒芸術で心をひとつに→地球の危機を救えるかもしれない」というお話はとても印象的で素敵なお話でした。



●パネルディスカッション

各分科会の情報共有で洞爺湖有珠山ジオパークの横山光先生、加賀谷にれさんが登壇されました。自分が参加していない分科会で興味があったユニバーサルデザインの活動は今後も続していくとのお話だったので、他のジオパークの取組など参加したマイスターからもお話を聴きたいと思いました。また、火山実験の分科会に参加された地域ではどんな火山実験をどんな時にされているのかも知りたいなと思いました。鹿追ジオパークの生き物を守る分科会も、以前、オンラインの勉強会にも個人的に参加したことがあったので興味があり、分科会選びも悩ましかったです。



●大交流会

今回は宿泊したホテルでの交流会に参加とのことで、交流会会場が3つに分かれ、他のホテル等に宿泊された方と夕食の交流ができず残念でしたが、交流会後も他のホテルに宿泊された方々と交流することができました。再会を楽しんだり、普段お会いする機会のない他地域のガイドさんやジオパー

クの関係者との交流はとても楽しく、これから自身のジオパークの活動を改めて見つめ直したり、私も頑張ろう！と思えたりしました。個人的には興味を持っている白滝ジオパークの瀬下学芸員と交流を深められ、今年度を予定しているジオパーク講座についても直接お話ができた良かったです。

